



け や き



No.1

甲府市立南中学校
令和4年4月21日
文責 渡 邊 豪

時が来るのを信じて。。

今月20日は、「穀雨」でした。穀雨とは「種まきや田植えの時期に降る雨」とされています。この時期の雨は「百穀春雨」とも呼ばれており、あらゆる穀物を潤し育てる、恵の雨と考えられています。私たちが、日々の生活に追われながら新型コロナウイルスへの対応に腐心し、季節の移ろいをじっくりと感じる余裕もなく過ごしている中で、自然は人間の営みとは関係なく、来るべき時期が来れば木々が芽吹き、若葉を広げ、動物も活動を始めます。盆地の周囲の山々も4月初めには薄茶色だったのが、今では木々が芽吹き、新緑に変わりました。



ここで、次の文章を紹介します。この文章は、現パナソニックを一代で築き上げた「松下幸之助」さんが記したものです。

【時を待つ心】

『何ごとをなすにも時というものがある。時、それは人間の力を超えた、目に見えない大自然の力である。いかに望もうと、春が来なければ桜は咲かぬ。いかにあせろうと、時期が来なければ事は成就せぬ。冬が来れば春はま近い。桜は静かにその春を待つ。それはまさに、大自然の恵みを心から信じきった姿といえよう。』

わるい時がすぎれば、よい時は必ず来る。あせらずあわてず、静かに時の来るのを待つ。時を待つ心は、春を待つ桜の姿といえよう。だが何もせず待つことは僥倖を待つに等しい。静かに春を待つ姿は、一瞬の休みもなく力をたくわえている。たくわえられた力がなければ、時が来ても事は成就しないであろう。

時を得ぬ人は静かに待つがよい。大自然の恵みを心から信じ、時の来るを信じて、着々とわが力をたくわえるがよい。着々とわが力をたくわえる人には、時は必ず来る。時期は必ず来る。

待てといわれればなおあせるのが人情である。だが、自然の理はわがままな人情には流されない。冷たいのではない。静かに時を待つ人には、暖かい光を注ぐのである。おたがいに時を待つ心を養いたい』

（「道をひらく」PHP研究所刊より）

ただ待つのではなく、「時の来るを信じて、着々とわが力をたくわえる」「着々とわが力をたくわえる人には、時は必ず来る。時期は必ず来る」。3月まで分散・分割登校が行われ、授業以外の学校での活動や部活動ができない状況でした。その間に「時の来るのを信じて、着々とわが力をたくわえる」の通り、日々の努力を怠らず、力をたくわえながら“その時を待つ”、という気持ちでいたのではないかと思います。

コロナ対応も3年目となり、現在はコロナ感染の第6波といわれていますが、学校も「通常登校」になり、制限はありますが「部活動」も再開されました。6日の「入学式」も感染対策をしながら予定どおりの日程で行い、7日の「対面式」も1年生と生徒会本部役員を中心とした代表の上級生によって行われ、距離をとりマスクをしながら換気をし、少人数で発声を控えながら応援団による応援も行いました。11日には、「新入生歓迎会」を実施し、生徒会本部による学校



紹介と部活動紹介を行いました。

今は通常通りの活動はできませんが、感染状況を常に確認し、感染防止対策を行いながら、活動内容を少しずつ増やしているのが今の段階です。皆さんが、様々な活動や部活動に取り組む生き生きとした表情と姿が、南中を活気づけています。今後も感染状況を確認しながらの活動になりますが、「感染対策をしながら、今できることを精一杯やっていく」という思いを全校生徒が共有しながら、やがて時が来て、全員で一気に花を咲かせることができるように「時の来るを信じて、着々とわが力をたくわえる」という思いで着実に努力を続けて欲しいと思います。



令和4年度 入学式を挙行了しました

4月6日に令和4年度第75回入学式を挙行了しました。新入生149名を迎えるために、前日には新3年生と2年生の代表が登校し、体育館の式場準備や学校各所の清掃等の環境整備を行いました。入学式当日は、昼過ぎに職員室前フェンスに学級発表の掲示をしました。学級発表を確認しながらの「ワクワクドキドキ」とした雰囲気、校長室にいる私にも伝わってきました。所属学級を確認後、新3年生の誘導で教室へ移動して入学式についての説明を受け、式場である体育館への入場を待ちました。司会の「新入生入場」という言葉を合図に、BGMが流れる中、緊張した面持ちの1年生が入場してきました。緊張はしているのですが、とてもしっかりとした態度で入場し、式の様子も立派でした。これから始まる南中学校での3年間の学校生活が、充実したものになることを想像させてくれる姿でした。1年生のさらなる成長が楽しみだと感じる入学式でした。



認しながらの「ワクワクドキドキ」とした雰囲気が、校長室にいる私にも伝わってきました。所属学級を確認後、新3年生の誘導で教室へ移動して入学式についての説明を受け、式場である体育館への入場を待ちました。司会の「新入生入場」という言葉を合図に、BGMが流れる中、緊張した面持ちの1年生が入場してきました。緊張はしているのですが、とてもしっかりとした態度で入場し、式の様子も立派でした。これから始まる南中学校での3年間の学校生活が、充実したものになることを想像させてくれる姿でした。1年生のさらなる成長が楽しみだと感じる入学式でした。



【誓いのことば】 新入生代表による誓いのことばを紹介させていただきます。1年生の代表として大変立派な態度で大役を務めてくれました。(以下原文のまま)

温かな日差しとともに吹く風が心地よく感じられるようになった今日、私達百四十九名は甲府市立南中学校に入学することができました。

このたびはこのような立派な入学式を行っていただき、ありがとうございます。新入生一人ひとり、これからはじまる中学校生活に期待と不安で胸がいっぱいです。甲府市立南中学校に入学し、これから一生懸命に学業と部活動に取り組み、充実した学校生活を送れるようにしていきたいです。そこで、二つのことを心がけていきます。

一つ目は、日々の学習に一生懸命に取り組みます。中学校では授業内容が難しくなることから、分からないことや苦手なことをそのままにするのではなく、自分で調べたり、聞いたりして、その都度解決していきたいです。そうすることで苦手意識を取り除き学習環境を自分で整える力を身につけていくことができると思います。



二つ目はマナーを守り礼儀正しく生活することに取り組んでいきます。挨拶などできて当たり前のことをきちんと行うとともに、感謝の気持ちを持ち、礼儀正しい生活を心がけていきます。これらが中学校生活を豊かにするとともに、これからの人生において自分の成長の糧になると考えます。当たり前のことを当たり前でできる人間になることをまずは目標にし、さらなる抱負や決意に向かって中学校生活を充実したものにしていきます。

私たち百四十九名は中学生としての自覚と責任感を持ち、共にはげましかつて高め合っていく仲間になれるよう、努力していくことをここに誓います。

令和四年 四月 六日
新入生代表 小林 蒼葉